

* 調査の詳細は、ホームページをご覧ください。

アイコン 景況調査



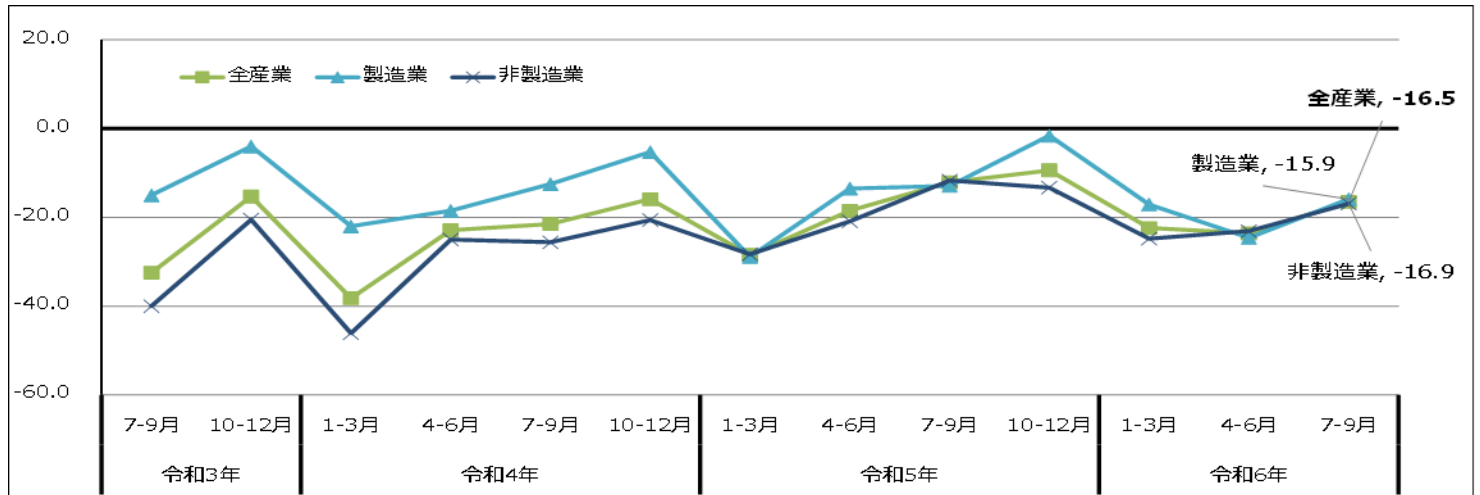
業況判断 DI は全産業で改善。 製造業、非製造業いずれも改善。

- ◆ 売上：全産業、製造業、非製造業いずれも改善 建設業は20ポイント増の大幅改善。
- ◆ 収益：全産業、製造業、非製造業いずれも改善 依然としてマイナス値。
- ◆ 従業員：全産業、製造業、非製造業いずれも横ばい 不足感は残る。

◆ 業況判断（前期比）注（ ）内は前回調査との差を示します。

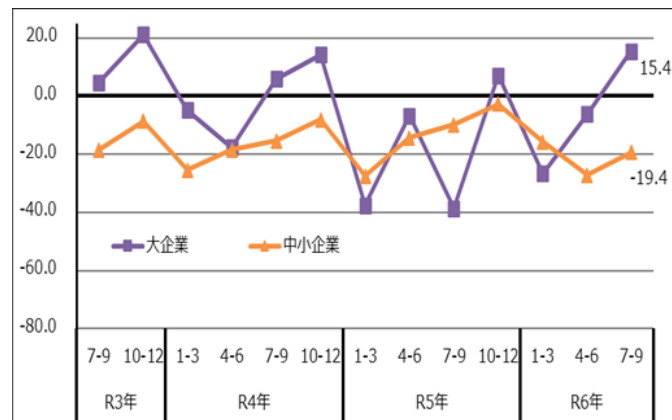
<全体>

業況判断 DI は、▲16.5（+7.1）で改善しました。業種別では、【製造業】は▲15.9（+8.7）で改善、【非製造業】は▲16.9（+6.2）で2期連続で改善しました。



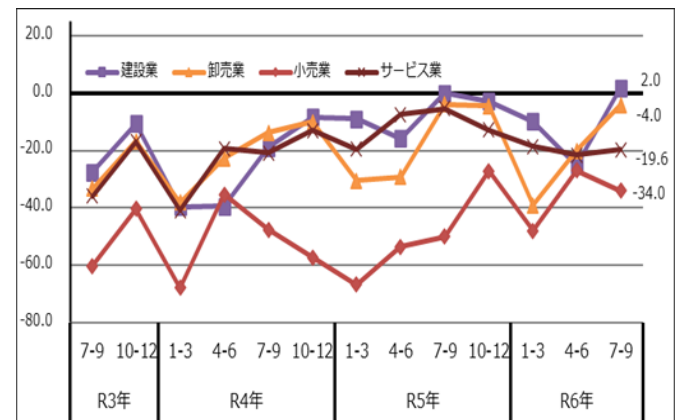
<製造業（規模別）>

【大企業】は▲15.4（+21.6）で大幅に改善、【中小企業】は▲19.4（+7.7）で改善しました。



<非製造業（業種別）>

【建設業】は2.0（+27.0）で大幅に改善、【卸売業】は▲4.0（+16.0）、【サービス業】は▲19.6（+2.0）でともに改善し、【小売業】は▲34.0（-7.1）で悪化しました。



DIとは

景気動向指数「デフュージョン・インデックス（Diffusion Index）」の略。「好転」（または「上昇」「増加」「過剰」と回答した企業の比率から「悪化」（または「下降」「低下」「不足」と回答した企業の比率を差し引いたもので、業況の方向感を測るための指標です。

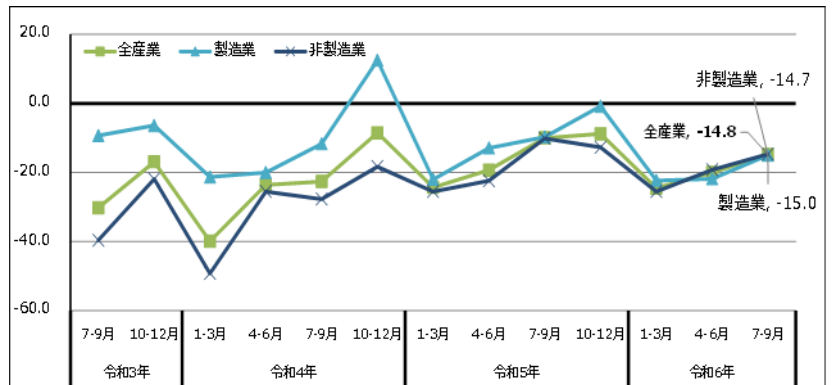
◆業界天気図



項目	業種 全産業	製造業			非製造業				
		全体	大企業	中小企業	全体	建設業	卸売業	小売業	サービス業
今回業況判断DI値									
前回との差									

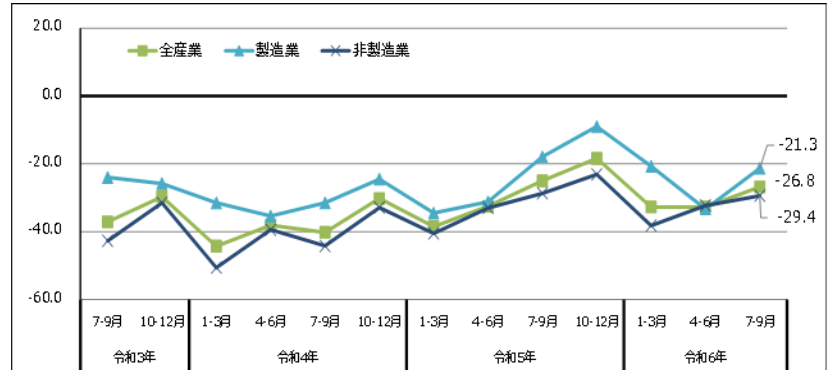
◆出荷額・売上高・完成工事高

- ・出荷額・売上高・完成工事高 DI は、▲14.8 (+5.2) で、2期連続で改善しました。
- ・【製造業】は▲15.0 (+6.8) で改善、【非製造業】では▲14.7 (+4.5) でいずれも改善しました。



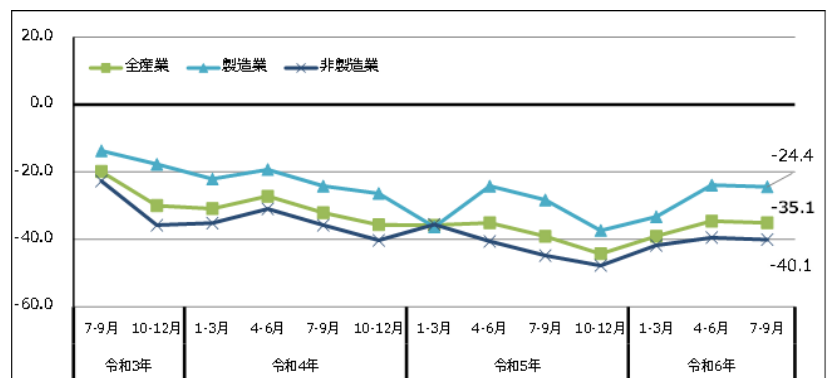
◆収益 (前期比)

- ・収益 (前期比) DI は、収益が前期より「好転」したか「悪化」したかを示すものです。全産業で▲26.8 (+5.9) で改善しました。
- ・【製造業】では、▲21.3 (+12.0)、【非製造業】では、▲29.4 (+2.9) でいずれも改善しました。



◆従業員過不足

- ・従業員過不足 DI は、▲35.1 (-0.5) で横ばいとなりました。
- ・【製造業】では、▲24.4 (-0.5)、【非製造業】では、▲40.1 (-0.6) といずれも横ばいで、不足感が依然として高い状態が続いています。



<本資料の問い合わせ先>

■ 尼崎市 経済環境局経済部 産業政策課
 ■ (公財) 尼崎地域産業活性化機構 調査研究室
<https://www.ama-in.or.jp/research/sub01.html>

担当: 宮崎・名井
 担当: 仲山・重本

連絡先: 06-6489-6670
 連絡先: 06-6488-9501 (代)